

## 「楽暮プロジェクト」の紹介

仙台電波高専 竹島久志

### 1. はじめに

楽暮プロジェクトは、「コミュニケーション支援に関する情報交換の場」として宮城県仙台市を中心に活動しています。本会は、ATACカンファレンスやマジカルトイボックスに参加していた者が、「仙台でもマジカルトイボックスのような活動がしたい」、「ATACカンファレンスを東北で開催したい」ということを話していたことから始まりました。2005年3月から活動を始め、現在3年目です。

ちなみに会の名称は、「障害の有無に関わらず、楽に楽しく暮らせる社会を目指す」ということで名付けられました。

### 2. 活動内容

楽暮プロジェクトの主な活動は、月例会（月1回）とイベント（年1回）です。

月例会は、毎月第1土曜日または日曜日の午後1時30分から3時間程度開催します。ここでは、実践報告や支援機器の紹介などの各種情報交換をする会と、スイッチ製作やおもちゃの改造をするワークショップを実施しています。会場は、東北大学または仙台電波高専を利用しています。

イベントは、これまでに4回実施しました。図1に、今年(2007年)のイベントのプログラム概略を示します。講演者は、外部の有名講師にお願いする他、地元の方(会員)にもお願いしています。企業セミナーは、通常の展示中には十分に伝えられないこと(開発の意図、導入事例など)を話していただくために設けています。情報交換会では、参加者の組織紹介または自己紹介を実施し、参加者相互の人脈形成に役立てることをねらっています。

この他に、メーリングリストによる情報交換とホームページ(<http://www.geocities.jp/rabopj/>)による情報発信も会の活動として実施しています。

### 3. 会員

会員には、月例会に参加する会員(年会費 1000

#### 第4回楽暮プロジェクト・イベント (2007年9月2日10時~16時)

1. セミナー1: 小松敬典氏  
(東京都立光明養護学校)
2. 機器展示1 (7件), 昼食
3. 企業セミナー 2件
4. 情報交換会 (参加者全員自己紹介)
5. 機器展示2
6. セミナー2: 伊藤洋子氏  
(たけくまこどもことばの教室)

図1: イベントのプログラム例

円)とメールリングリストに参加するメール会員(無料)があります。2007年10月現在で会員は30名弱、メール会員は80名強です。

図2にメール会員の職種の割合を示します。大きな偏りなく、さまざまな職種・立場の方々が参加されているのが特徴です。ただし、月例会の参加者は養護学校教員やリハビリ専門職員等が中心であり、保護者の参加はほとんどありません。

#### 4. 今後の展望

これまでの約3年間、月例会・イベントを順調に開催し、会員も順調に増えています。しかし、より広くAACおよびATを普及させるには、

- ・当事者や保護者へ直接的に働きかける場
- ・市販の支援機器を気軽に試用できるシステム

が必要なのではないかと思われます。今後、他の会の活動を参考にしながら、新たな活動にも取り組みたいと考えています。

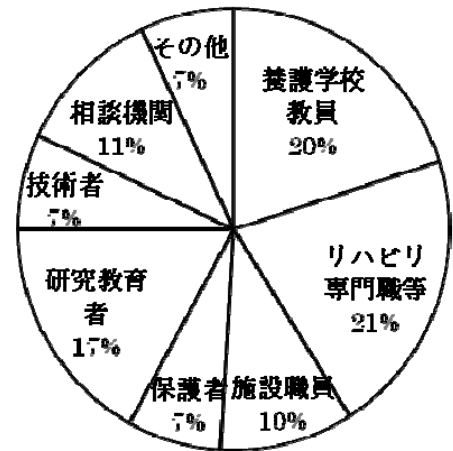


図2:メール会員(82名)の職種割合